

2019年10月22日
日本貨物鉄道株式会社

台風19号の影響による運行状況 (一部区間の運転再開見込みと代行輸送の実施) について (10月22日10時現在)

10月12日に上陸した台風19号の影響により、現在も一部の区間において貨物列車の運転ができない状況となっています。一部の区間について運転再開見込みとなりましたのでお知らせいたします。また、運転再開までの間、不通となっている東北線区間の代替として、日本海縦貫線を経由した迂回輸送、トラックおよび船舶による代行輸送を実施しております。現在の貨物列車の代行輸送区間並びに不通区間は下記のとおりですが、今後もJR旅客会社や利用運送事業者等と連携し、引き続き可能な限り逐次輸送力を拡充してまいります(下線部が前回ニュースリリース(10月21日12時現在)から更新した情報となります)。

1. 現在の運転中止区間(別紙1をご参照)

以下の複数区間で運転を見合わせています。

- ・中央線 高尾～相模湖間(10月末頃運転再開見込み)
- ・東北線 新白河～郡山タ間(10月29日運転再開見込み※)
郡山タ～岩沼間(10月26日運転再開見込み※)

※東北線の運転再開はJR東日本仙台支社プレス(10月21日付)によります。運転再開後の貨物列車の運転計画は別途お知らせします。

・「タ」は「貨物ターミナル駅」の略。

2. 迂回輸送の実施について(別紙2をご参照)

- (1) 区間：隅田川～札幌タ(10/24より1往復増強します)
開始日・輸送力：10/15～ 20両編成 1往復/日
→10/24～ 20両編成 プラス1往復/日
- (2) 区間：名古屋タ～札幌タ間
開始日・輸送力：10/15～ 20両編成 1往復/日

3. 代行輸送の実施について(別紙2をご参照)

(1) トラックによる代行

- 区間：宇都宮タ～仙台タ間(順次輸送力を増強します)
越谷タ～郡山タ間
開始日・輸送力：宇都宮タ～仙台タ間 10/17～ 最大114個/日
→順次増強し10/23～ 最大200個/日に増強
越谷タ～郡山タ間 10/23～ 20個/日

これに合わせて、宇都宮タ、仙台タへの折り返し列車も1往復ずつ増強します

区間：大阪タ・安治川口・名古屋タ～宇都宮タ、仙台タ～札幌タ間

開始日：大阪タ・安治川口・名古屋タ～宇都宮タは10/21～、仙台タ～札幌タ間は10/23～

(2) 船舶による代行（釧路貨物（港）または苫小牧（港）→東京（港）、東京（港）→苫小牧（港） および大阪夕（舞鶴港）～札幌夕（小樽港）で運航）

区 間：東京夕～釧路貨物または苫小牧貨物間

（東京港～釧路港または苫小牧港間 船舶）

大阪夕～札幌夕（舞鶴港～小樽港 船舶）

開始日・輸送力：釧路港発 10/18～（10/18・10/22・10/25）

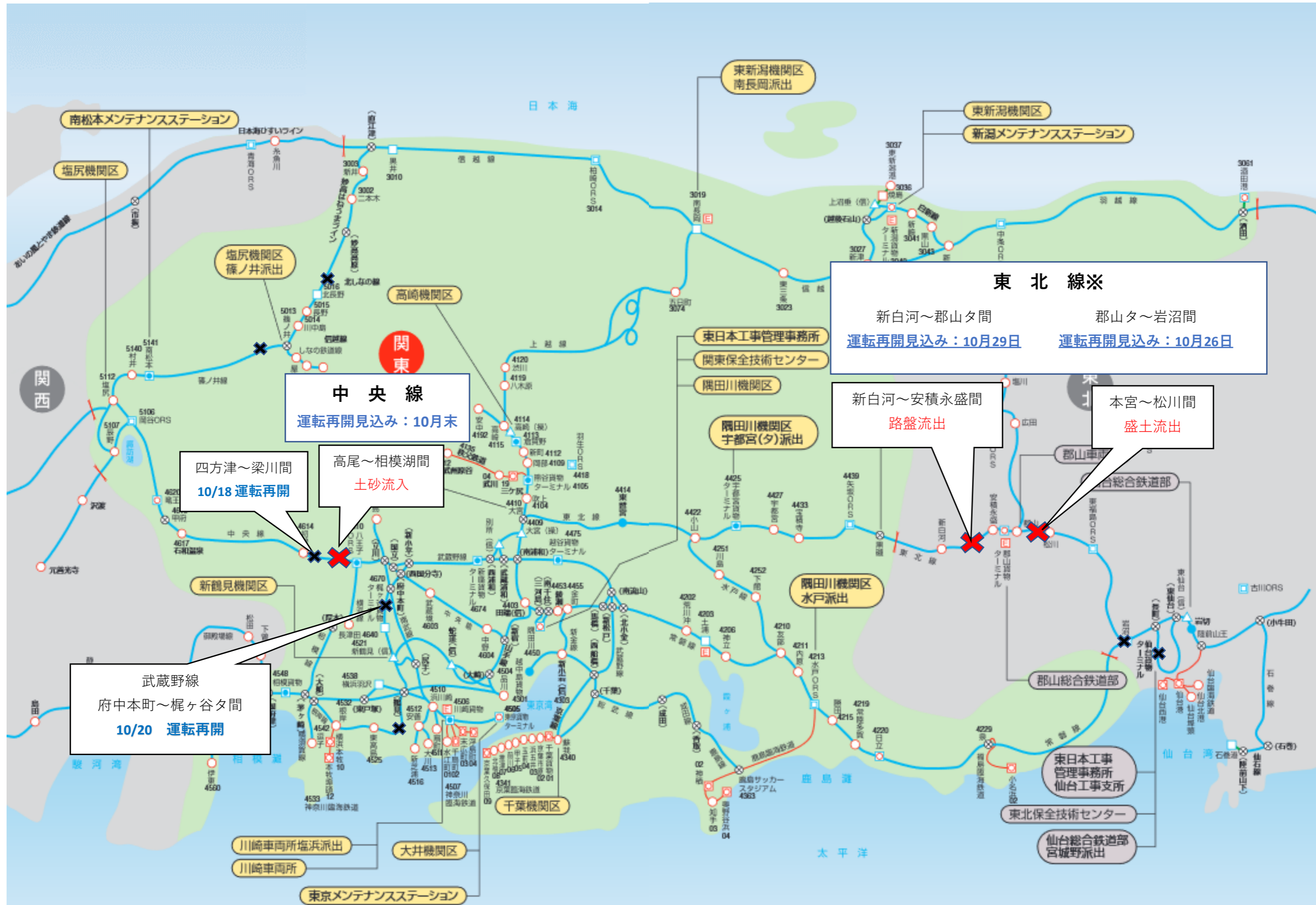
苫小牧港発 10/23～（10/23・10/25・10/26）

東京港発（いずれも苫小牧港着）10/23～（10/23・10/25・10/26）

いずれも 30 個／回

小樽港発 10/15・10/19、舞鶴港発 10/17・10/21

いずれも 12 個／回



・下線部が、ニュースリリース（10月21日12時現在）から更新した情報となります。

※東北線の運転再開はJR東日本仙台支社プレス（10月21日付）によります。
運転再開後の貨物列車の運転計画は別途お知らせします。

台風19号の影響による代行輸送・迂回運転 (2019年10月22日現在)

別紙2

【凡例】
 折返し運転
 う回列車運転

トラック代行
 船舶代行

※前回ニュースリリース(10月21日12時現在)より変更はございません。

